

社会福祉法人横浜共生会 しんよこはま地域活動ホーム  
大震災時における対応について

しんよこ発 25123 号

以下は横浜市内において震度 5 強以上の地震（3.11 大震災時の横浜の震度）が発生した場合の当所の対応指針です。一時ケア・ショートステイ・日中活動全てに共通した内容です。

I については当所に 2～3 日留まらざる得ない事態を想定してのご家族にお願いしたい準備についてです。

II については、有事にこのように対応するということを事前に共有化しておき、混乱を回避することを目的とします。

長文になりますがいずれも重要な内容になりますのでご確認頂けるようお願い申し上げます。

I) 災害時等緊急時、当所に 2～3 日留まる事になった場合の準備

① 薬の扱い

- ・別紙しんよこ発 25123 号-1『災害時等緊急時の薬の扱いについて』によります。まずはこちらをご一読ください。

この紙面はご本人の鞆等の中に薬などと一緒に入れておいて頂けますようお願いいたします。当所への提出ではございません。適切な情報収集のために適宜更新、入れ替えをお願いいたします。内容に一部変更があるような場合は、追記し、日付けを更新頂いても結構です。また、新しい書面が必要な場合はお声掛け下さい。

- ・液剤、座薬等についても各ご家庭での準備をお願いいたします。冷蔵保存が必要な場合はクールパックなどをご活用ください。

② 災害時等緊急時の個別対応について

- ・別紙しんよこ発 25123 号-2『災害時等緊急時の個別対応について』によります。まずはこちらをご一読ください。

この紙面は必要な方のみご利用ください。また、ご本人の鞆等の中に薬などと一緒に入れておいて頂けますようお願いいたします。当所への提出ではございません。適切な情報収集のために適宜更新、入れ替えをお願いいたします。内容に一部変更があるような場合は、追記し、日付けを更新頂いても結構です。また、新しい書面が必要な場合はお声掛け下さい。

- ・注入の必要な方について

注入機器と注入用栄養剤等を 3 日分ご用意ください。お出かけ時の携帯品としてカバンに一まとめにするなどして、利用のたびにお頂ければと思います。

- ・吸引の必要な方について  
これまで通り吸引機は利用時にご持参ください。合わせて、電池やバッテリーの状態の確認、予備のカテーテルの用意もお願いします。

## Ⅱ) 災害時緊急時の当所の動き方

- ① 一時ケア、ショートステイ、日中活動の利用前に発生した場合
  - ・事業を休止します。
  - ・一時ケアで学校、バスポイントお迎えの予定だった方でも、お迎えには向かいません。学校での対応指針に従ってください。
- ② 一時ケア、ショートステイ、日中活動の利用中に発生した場合
  - ・基本当所を動きません。ご家族のお迎えを待ち続けます。
  - ・当所構造物に地震による影響が出て、この場に留まることが危険と判断した場合には目の前の大豆戸小学校に避難している場合もあります。  
また、怪我をしている場合は地域医療救護拠点である大綱中学校に避難している場合もあります。
- ③ 連絡が取り合えない場合の通信手段  
3.11 東北大震災の際、震源地ではなかった横浜でさえ、固定電話はもちろん携帯電話は麻痺し、かろうじてメールが繋がるかどうかといった状態でした。このような事態に対応するためにいくつかの通信手段が存在します。  
有事の際の実際の運用がどの程度うまくいくのかは不明ですが、何かの役に立てばとの思いから情報を共有しておきたいと考えました。  
別紙 **しんよこ発 25123 号-3「有事の際の情報伝達について」** をご確認ください。  
**同紙面文末に個人情報の取り扱いに伴う重要な伺いもあります**ので重ねて確認のお願いをさせていただきます。

### \*おしまいに

特にⅠについてご家族の皆様には大きな負担をお掛けすることは十分に認識してのお願いになります。本当に申し訳ありません。とはいえ、1,800名を越える方々の登録がある事業所の特性として、薬等をお預かりするということは管理の問題、品質の確認等で現実的ではないと考えるに至りました。有事の際を見据え皆様のご協力を得つつ、日々の業務との整合性を図り、今出来る事から始めていきたい所存です。

**\*問い合わせ先：しんよこはま地域活動ホーム 045-531-4400**  
**本田、高橋まで**